

木馬会会報 (第50号)

* NHKマイルカップ特集 *



96/05/09

記念の50号です。ビワハヤヒデの勝った天皇賞から丸2年、いつのまにかこんなに出しているのですね。これからもご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

さて、本誌のほうは「四国の井崎」が2週目に突入です。

～木馬達の予想～

——本誌 四国の井崎——

4月は久しぶりの月間プラスという快挙で気をよくしてたら、変則3日開催でワン、ツー、スリーとノックアウトパンチを食らい、預金口座がゼロリセットされてしまいトホホ。

こういう状態で本誌を任されるのは荷が重い。

ナニ!、ナリタブライアンが武で高松宮杯出走? TP氏が恐れていたことが起こってしまいましたね。天皇賞から宝塚記念が開き過ぎるといふ中長距離路線の番組改悪の弊害が。

ナリタブライアンの使い方でも物議をかもした大久保調教師らしい発想です。しかしどうせ使うなら安田記念を堂々と使って欲しかった。なんでローカル競馬場にしか過ぎない中京競馬場で行われる名ばかりのG1を使うのか。そして南井を降ろすのか?

さて先週の完敗で今週はおとなしくしておこうと思っていたら、やたら全国発売レースが多いことか? 黙って見てることの出来ない私としましてはJRAのわなにハマッてつい手を出してしまいそうです。

今週はザフォリアに続き、藤田騎手の活躍を期待したい。ファビラスラフィンと西の秘密兵器フサイチコンコルドです。

NHKマイルC

◎ ファビラスラフィン

△1 スギノハヤカゼ、タイキフォーチュン、バンブーピノ

△2 ツクバシンフォニー、ヤシマキャプテン、エイシンガイモン、エイシンコンカード

ニュージーランドTは本命にせずほぞをかんだ。あの時「ここをあっさり勝つようだ」とNHKの大本命馬」と言っていたがその通りになりました。ニュージーランドTでは逃げ切りという勝ち方に個人的に不満が残りましたが、今回バカッ速いバンブーピノの出走で非常にレースがしやすくなった。先行抜け出しという横綱レースで悠々と勝てるのではないかと期待しています。そして距離延びる秋にも大きな期待が膨らみます。

相手は△7頭です。このうち△1は古馬1500クラスにも匹敵する時計の持ち主で、過去の4才馬と比べると1クラスは違っています。安田記念とのタイム差がどの程度になるか楽しみです。

△2からは絶好調横山典のツクバシンフォニーを調教次第では対抗にもってくるかも知れません。

Fの音韻を持っているラフィン、フォーチュン、シンフォニーで決まると響きがいい。

——栄蔵の1番弟子 TP——

NHKマイルカップ

◎…セイントリファール ○…ツクバシンフォニー ▲…スギノハヤカゼ
△…ファビラスラフィン、タイキフォーチュン、ゼネラリスト、ヤシマキャプテン

～予想者の屁理屈～

アーリントンC以降の外国産馬も出走できる重賞レースを振り返ると、外国産馬の特徴が見えてくる。重賞レースで2戦続けて連対することがない。これは何を意味しているかという、ロイヤルタッチ等サンデーサイレンス産駒ほど抜けた馬がおらず、10頭程度が同じレベルにいるということなのだ。だから展開や何かで惨敗することがある。ということで、今回のこのレースも扱いにくくて困ってしまうのだ。賭け方はルーレットによく似ている。どれも同じ確率で来そうで、確率的には同じ目は続けて出そうもない。ほんとに山勘的な要素の高いレースである。

さて、圧倒的1番人気の予想されるファビラスラフィンだが、こいつも怪しい。まず、前走逃げてしまったのがいけない。揉まれる競馬を経験してないこと、レースキャリアが浅いこと、これはG1のきつい流れで大きな不安材料だ。東京の1400mは流れが落ち着きやすく、1600mと同じように見てはいけない。また、前走10キロの体重減だったことも本命にできない理由。印象としては、京王杯SCを楽勝したが、安田記念で5着に敗れたスキーパラダイスという感じがする。単勝1倍台の支持を集めるようなら他の組合せで非常においしい馬券をゲットできるだろう。

私は夢を見た。武豊がゴール後にお焼香のアクションをしているのだ。実は武は「とんねるずのみなさんのおかげです」において貴と憲にこう約束した。「今度G1を勝ったらお焼香のアクションをします。」この約束はダンスインザダークが皐月賞に出走することを見込んでいった言葉だが、実際には、回避したことで約束は延期された。コースは左回り、馬券は万馬券、乗ってる馬はダンスインザダークではないため、アクションに戸惑いが見られる。実に鮮明な夢だったので忘れなかった。そこで考えた。ダービー前の左回りのG1は高松宮杯、NHKマイルカップ、オークスだけ。高松宮杯ではナリタブライアン、オークスではエアグルーヴに乗ることで1番人気は確実で、万馬券は出づら。出るならNHKマイルカップしかない。幸いに騎乗予定のセイントリファールはあまり人氣がなく(7,8番人気)、ファビラスが1本被りすることで万馬券の組み合わせも多いと思われる。肝心の馬自身の力であるが、上記した横1線の中の1頭と数えられる。ここの所長い距離を使われているのが不安ではあるが、強靱な末脚は府中の直線向きである。何より順調に使われている(使いすぎともいわれる)のが強調できる。と理屈を並べたが、実際厳しいとは私も思っているよ。だが、有力馬が多すぎてこれで当たるという予想を出来ないのなら、思い切って夢を信じるのもいいではないか。ということで本命・セイントリファール。実際には挙げた馬のほかにも、シロヤマボールド、エイシンガイモン、ヒシナタリー、ルグリエールにも流す予定。夢を信じて万馬券をゲットする!

さて対抗は、実は本命にしようと思っていたツクバシンフォニー。信用できない外国産馬の中で、唯一オープンでSS産駒4強の1角を破った馬。前走は2000mだったが掛かる気性で距離短縮は問題無い。絶好調横山典の騎乗も心強い。しかし1点気になるのは2ヶ月以上ぶりの実戦ということ。私の馬券理論では休み明けは軸にしない。単穴にスギノハヤカゼ。前走の敗戦の原因はその前のレース時の馬体減。今回は完調のはずで、良馬場条件でマイル1:33秒台の足を見せてくれるはず。その他には、やはり強いのかのファビラスラフィン。タイキフォーチュンは2000mの持ちタイムはいいが、信用置けない外国産馬の典型。1600mになるのもあまりいい材料でない。ゼネラリストも前走は太め、このレースに向けて絞ってくるはず。ただシンザン記念は相手に恵まれた。もう頭打ちの可能性はある。ヤシマキャプテンは前走2ヶ月ぶり。鞍上岡部もいいが、道悪で3着に來たような気もするし、スパット切れるタイプではないだろう。

皐月賞以降あまり買っていないので、何とか100%は維持しております。現在の回収率108.5%。

～今や競馬といえば横典と石崎～

6日の関東オークスで5番人気のタカミプリティを勝利に導いた石崎様の騎乗ぶりは流石と思わせるものでした。(しっかりいただきました。)皆様も“石崎には逆らうな”という言葉をお忘れずに頑張りましょう。

マイルC

◎…ツクバシンフォニー ファビラスラフィン
△…ヤシマキャプテン セイントリファール タイキフォーチュン

というわけで新設のマイルC。前走、力の違いをまざまざとみせつけたファビラスラフィンを負かせる馬は何か。少なくともNTZ4S組にはいない。全力をだしきっての2着だったガイモンや、いい脚とはいえ詰め甘いシロヤマ、本当に強い?ゼネラリスト達では差は開く一方だろう。負かせなくとも2着ならと思わせるのは、33秒台の時計を持つハヤカゼと岡部様に乗り替ったキャプテンくらいか。

では負かせるとすれば??そう横典ツクバシンフォニーしかいない。弥生賞2着の実績、過去に負かした相手がイシノサンデーやスピードオーといった超一流馬、連対率100%の安定度、休み明けでも仕上げる狂いのない伊藤正厩舎、そして横典とくれば期待は高まるばかりだ。

押さえには重賞勝ち馬タイキフォーチュンと武セイントリファール、岡部キャプテン。

最後に・・・やっぱりセンターライジングは強かった。

今回は怒って始めます。

メニーフレン(ズ)

もう終わってしまったものは仕方がないが、先日の天皇賞についてオールド競馬ファンとしてどうしても一言、言っておきたいことがあるので書かせていただく。

決して結果論ではなく、どう考えても単なる叩き台にすぎない阪神大賞典の結果だけ見て、「ブライアンとトップガンで鉄板」という世間のいわゆる評論家たちの意見は非常識だと思う(2頭では決まらなと断言したのは、ゲンダイの本誌・鈴木だけのような気がする)。まだ、サクラやルソーとの勝負付けは済んでいないのだし、所詮トップガンの菊花賞、有馬記念勝ちがフロックにすぎないのだ。ところで、「歴史は繰り返す」とはよく言ったもので、①「2強対決」と言われた春の天皇賞で3度目の1着・4又は5着(ルドルフ・シービー、マック・トウカイテイオー以来)②金杯、中山記念を制した3番人気馬が勝つ(クシロキング以来。せつかく、指摘していたのに悔しい)、という結果になってしまった。結局、私の予想は、△○◎▲だったわけだが、別に私の予想がいつもひねくれているわけではないことが証明できたので、はずしても満足しています。

ところで、NHK杯といえば、毎年5月の第二週の母の日に行われており、昔の馬連の無い時代には、よくハハ(ハハ)のゾロメの中穴が出たりして、風情があったものだった。それが名称が変わるだけではなく、まだ4歳の春なのにマイル王を選ぶなんてまるで中学生で、将来の進路をもう決定するようなものであり、よくわからないレースになってしまったのは、嘆かわしい限りである。この風潮では、いつか皐月賞が12月に、菊花賞が真夏に行われることだろう(実際に七夕ダービーというのも昔あったことだし)。

どうも愚痴の多い出だしになってしまったが、所詮、「外国馬のダービー」にはピノ君の出番はないと思うし、1600mとは、異質の1400mを快勝したフェビラス嬢も牝馬ゆえ全面的な信頼は感じられない。今回も「孤独の本命」(古いなあ)になってしまうようだが、次の予想をさせ

ていただく。

◎スギノハヤカゼ

○エイシンガイモン

△フェビラスラフィン、シロヤマボールド、ツクバシンフォニー、ルグリエール、ヤシマキャプテン、ゼネラリスト

さて来週ですが、予想馬柱にも書いてあるとおり、月～木まで森田&小田は研修で居りません。金曜日には森田は出社しますので(ちなみに小田は金曜日も休むそうです)、金曜日の12:10までに予想馬柱を提出して下さるようお願いいたします。

また、今号より、予想馬柱の形態が変わります。本誌は最も大きいサイズ。過去21のGIで、5つ以上当てている場合は現状の大きさ、3つ以上がやや小さく、それ以下は極小サイズになり、1つも当たらなかった場合、予想者失格の烙印を押させていただきます。

第1回 NHKマイルカップ

21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
		ワイルドバット	ロックホルト	ルグリエール	ユノペンタゴン	ヤシマキャプテン	プラウドマン	ファビラスラフィン	ヒシナタリ	バンブーピノ	ツクバシンフォニー	タイキフォーチュン	ゼネラリスト	セイントリファール	スコールイ	スギノハヤカゼ	スギノハヤカゼ	シロヤマボールド	キングオブケン	エイシンガイモン	馬名
						△		◎		△	△	△					△			△	四国の井崎
						△		△			○	△	△	◎			▲				TP
				△	△	▲		△			◎					○				△	ハチロー
						△		◎			◎	△		△							へなりん
								△		△	◎	△	▲	○						△	トウカイサンデー
																					たけのらっきー
				△		△		△			△		△			◎	△		○		メニーフレンズ
		△						○				△	◎	△		▲		△			おけらくん
				△	△			▲	△		◎	○						△			ミスターX
						△		○			▲		△	◎			△			△	ラッキー
								◎					○								Y.O
					▲			◎													ジュライキャトル

	ス7°S	有馬	桜花	皐月	天春	安田	ホク	優駿	宝塚	天秋	菊花	功女	マイルC	J.C	阪牝	朝日	ス7°S	有馬	桜花	皐月	天春
四国の井崎	○							○				☆				○					
TP								◎						◎							
ハチロー	○							◎													
へなりん	○	○																			
トウカイサンデー																					
たけのらっきー	○													☆							
メニーフレンズ								◎													
おけらくん								◎													
ミスターX																					
ラッキー																					
Y.O	○																				
ジュライキャトル																					
	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…～20倍 ◎…20～50倍 ☆…50倍～